



④大川工場内のようす  
⑤破砕・溶融機



## 県内最大級の自動選別ラインを完備

同社は「袋井工場（袋井市）」「大川工場（浜松市）」「岡部工場（藤枝市）」「桜台工場（浜松市）」の4つの工場施設を持つ。

「袋井工場」は県内で最大級の自動選別ラインを完備。全天候型処理工場で、作業する上で必要とされるすべての工程ラインを屋内に設置、最新の産業廃棄物処理の中間施設として2006年4月に完成した。この工場では、原料となる産業廃棄物が処理前・処理中を含め一切外気や風雨にさらされることがないようにしている。また、発泡スチロールをインゴット状に溶融固化した品

質の高いリサイクル材も生産している。

「大川工場」は、5tを超える廃プラスチック類の破砕処理能力を持つ。処理能力は、日量23t。周辺地域への環境負荷を限りなくゼロに近づけるため、すべての作業は防じん、防音設計にし、約2300㎡の工場内で行われており、環境共生型の廃棄物処理工場として産業廃棄物のほか、一般廃棄物の委託事業も手がける。

## ミストシャワー設置で防じん対策図る

「岡部工場」は中間処理施設として、静岡県下で最大級の処理能力を持つ工場だ。廃棄



専用コンテナを使っての  
回収作業